

すわ光昭 県政だより

発行 者
県民クラブ・公明 大町支部
支部長：諏訪光昭

〒398-0002 大町市大町(下仲町)4067
TEL：0261-23-7460 FAX：0261-23-7461



県民文化健康福祉委員会

ごあいさつ

日頃から、長野県議会の活動に対しまして、温かなご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
新型コロナウイルス感染症の新規陽性者数は、先月から全国的に大きく減少し、県内においても、県民並びに事業者の皆様のご協力で減少しており、第5波もほぼ収束したと考えられます。引き続き、徹底した感染症対策を行いながら、コロナ禍の影響を大きく受けた県民・事業者の皆様を支援し、官民挙げて社会経済活動の活性化に努めてまいります。

今後も、県民一人ひとりが、「思いやり」の心を持ち「支え合い」の輪を広げ、一丸となってコロナ禍の克服に向けて行動してまいります。

さて、先月31日執行しました、第49回衆議院議員総選挙におきまして、与党である自由民主党と公明党の議席は、公示前よりは議席を減らしたものの、国会を安定して運営できる「絶対安定多数」を獲得し、引き続き、岸田政権が政権運営を担うこととなりました。今後におきましては、新型コロナウイルス感染症対策に加え、4つの成長戦略を柱にさまざまな施策が具体化されてくるものと思います。県におきましても、国の動向を注視しつつ、適時適切に事業を推進できるよう取り組んでまいります。

地域経済の活性化と地域住民の利便性の向上を目指して計画しています「地域高規格道路 松本糸魚川連絡道路」の、大町市街地区間の概略計画の検討は、平成30年2月より国の推奨する「構想段階における道路計画策定プロセスガイドライン」に準じて進めております。令和2年2月に「幅の広いルート帯」の最適ルート帯を「西ルート帯」に選定し、さらに「幅の細いルート帯」の選定に向けて、第1段階から第4段階まで段階を踏んで検討しています。現在は、第1段階の「ルート帯選定に向けた調査検討」を経て、第2段階「複数ルート帯案と評価項目の設定」を検討しています。今後は、第3段階「複数案の比較評価」、第4段階「最適ルート帯の発表」を予定しています。皆様には、地域住民の長年の悲願でもある、この事業の早期着手に向け、更なるご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。
県議会といたしましては、引き続き、県民の皆様への命と健康、そしてウィズコロナの時代に即した社会経済活動の早期回復並びに将来の長野県を展望した視点から、必要な対策に取り組み進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

長野県議会議員 諏訪 光昭

県議会令和3年9月定例会(会期：9月22日～10月8日)の報告

令和3年9月定例会では、知事から令和3年度一般会計補正予算案並びに、一般会計及び特別会計の決算の認定と、長野県県税条例及び長野県個人情報保護条例の一部を改正する条例案などの議案が提出されました。本会議での一般質問、各常任委員会では、提出議案のほか、様々な県政課題についても活発に議論しました。審議の結果、新型コロナウイルス感染症への対応(162億円余)、

8月、9月の大雨被害への対応(災害復旧、補助・県単独公共事業)・4月の凍霜害による農産物被害への対応(171億円余)、地域公共交通の維持・発展などに重点を置いた、総額335億1,561万2千円の一般会計予算案など、知事提出議案29件を原案のとおり可決、同意または承認しました。

●女性の視点を加えた防災対策について

■議員の質問・質疑

女性の視点からの災害対応を円滑に進めるためには、平常時から危機管理部をはじめとする関係機関との連携を密にし、災害時に備えることが重要と考えるが、どのように取り組んでいくのか伺う。

●知事・部長答弁

女性の視点を加えた災害対応を進めるためには、大きく2つの課題があり、1つは、災害から受ける影響やニーズの男女の違いに配慮すること、もう一つは災害対応における意思決定場面に女性が参画することです。いずれも平常時からの取組が重要となります。

まず、男女の違いへの配慮に対する取組として、避難所を運営する市町村に対し、内閣府が作成した「防災・復興ガイドライン」に基づき、平常時から避難所運営や備蓄について、男女共同参画の視点からチェックしていただくよう、危機管理部とともに働きかけています。

また、災害対応への女性の参画拡大に向けて、男女共同参

画センターを中心にロールモデルや好事例の発信に取り組んでおり、令和元年度には、「災害時に女性の力を活かすこと」をテーマとしたフォーラムを開催したところでした。

今後とも、危機管理部等との連携を密にし、避難所運営等への取組強化を働きかけるとともに、地域の自主防災組織への出前講座等を通じて、災害対応への女性の参画拡大に取り組んでまいります。

●新型コロナウイルス感染症対策について

■議員の質問・質疑

県ではワクチン接種に対して不安や懸念を抱く若者に、正しい情報を伝えるためのオンラインセミナーを行ったが、更にその様子を若者自身がSNS等を通じて同世代に発信してもらうことが若者の接種率向上に有効と考えるが所見を伺う。

●知事・部長答弁

若者への情報発信につきましては、県では、高校や大学等に対して、夏休み期を捉え啓発用チラシ等活用して周知を行っております。市町村におきましても、街頭PRやケーブ

ルテレビ、SNS等を活用して広報啓発を行っているところでございます。「若者オンラインセミナー」におきましては、放送内で視聴者の皆さんにSNS等での発信の呼びかけを行いましたほか、今後は、アーカイブを作成いたしまして啓発ツールとしても活用を行ってまいります。

■議員の質問・質疑

今後、長野県においても経済活動の再開に向けPCR検査に加え、簡易検査を活用した検査体制の強化が必要であると考えるが所見を伺う。

●知事・部長答弁

抗原簡易キットについては、医療機関や高齢者施設、学校等への無償配布、さらには職場における使用の促進など、感染拡大防止のために広く活用されているところでございます。

本県におきましても、全県の感染警戒レベルを5に引き上げた際の対策の柱として、国で配布された施設以外でも、ごく軽い症状のある方が使用できるよう、陽性者の早期発見促進事業の中で活用しております。

なお、国が示したワクチン・検査パッケージのイメージでは、検査としては主にPCR検査を推奨するものの、抗原定性検査も想定している旨記されています。

ただし、これまでは、無症状者に対する抗原定性検査は、推奨されていなかったことから、それらの課題についても今後国において十分な検討が行われるものと考えております。

いずれにしても医療用抗原簡易キットの薬局での販売も認められる方向であると承知しており、引き続き情報収集に努め、必要に応じて検査体制の強化に活用してまいります。

●災害対応について

■議員の質問・質疑

県が管理する河川で災害復旧を行う場合のよりよい復興、いわゆる「ビルド・バック・ベター」をどのように具体化していくのか伺う。

●知事・部長答弁

河川の災害復旧にあたっては、当該箇所地形・地質・出

水の状況、被災に至ったメカニズム等を把握し、原形普及を基本としながらも、再度災害防止の観点も持ちながら復旧計画を立て、工事を実施しています。

さらに、施設が被災しただけでなく、現況河川の流下能力不足から越水被害が生じた場合等においては、改良復旧制度を活用し、河川断面の拡大や流路の屈曲の是正を図る等の対策を講じております。

また、復旧箇所に隣接する護岸等で、今後、弱部となる恐れがあるものの、改良復旧事業の採択要件を満たさない場合に、県単独費を充当し、一連の工事として実施するケースも多くございます。

今後も、その河川の特長や、被災箇所とその周辺の状況をしっかりと把握し、より良い復興の観点も持ちながら、災害復旧事業に取り組んでまいります。

■議員の質問・質疑

市町村が管理する河川においては、災害復旧だけでビルド・バック・ベターを実現していくことは困難なケースが見受けられる。河川改修など、抜本的な対策の実施を市町村が希望する場合、財政支援を含め、県としてどのような支援ができるのか伺う。

●知事・部長答弁

まず、市町村が管理する河川の災害復旧においても、原形復旧のみでは再度災害防止が図られない場合においては、一定の要件はありますが、県管理河川と同様に改良復旧制度の活用も可能となっております。

また、市町村が管理する準用河川における河川改修事業につきましては、5か年加速化対策の予算を含め、防災・安全交付金により実施することが可能であり、交付金の要件を満たさない、普通河川等における河川改修事業につきましても、緊急自然災害防止対策事業債等により、実施が可能であります。

このため、市町村が実施する河川改修において、このような交付金等を積極的に活用するよう、引き続き市町村に対して周知を図ってまいります。

さらに、事業申請のための、改修計画等の作成については、各建設事務所を通じ、引き続き助言や支援を行っていきたいと考えております。

中川宏昌氏衆議院議員選挙初当選

県民クラブ・公明の一員として活動してきた中川宏昌氏（松本市・東筑摩郡区）は、公明党公認で衆議院議員選挙出馬のため、9月定例会開会日の22日、宮本衝司議長に議員辞職を提出、同日の本会議で許可されました。

3期11年間、県議会議員としてご尽力いただきました。今期は2年余にわたって県民クラブ・公明の幹事長として、会派の中枢で議会対応にあたっていました。

19日公示の第49回衆議院議員選挙、比例代表北陸信越ブロック（定数11）の公明党の名簿順位1位で選挙戦を戦い、見事初当選を果たしました。

ご当選おめでとうございます。これまで培ってきた経験を活かし、自公連立政権の一員として、コロナ禍を克服

して経済を立て直し、国民の負託に応え、新しい日本を開く原動力として活躍されることをご期待申し上げます。



「信州の伝統的工芸品振興議員連盟」設立

長野県には数多くの伝統的工芸品があり、伝統文化や生活様式を背景として広い県土の特色ある地域を彩っています。それぞれが長い歴史の中で磨き上げてきた高度な技術、手間暇を掛けて作られる製品には職人の魂が込められ珠玉の一品に仕上げられています。

こうした貴重な伝統的工芸品も、生活様式の変容や価値観の多様化、安価な大量生産品の浸透等の要因によって、産業としての存立を危うくされています。同時に、少子化や高学歴化、技術習得の難しさなど

から後継者不足の問題に直面して担い手の高齢化が顕著であり、後世に残して行けるかの瀬戸際に立たされています。

伝統的工芸品は、観光県たる長野県が都会から人を呼び寄せる魅力の一つとしても非常に大きな価値があります。これを後世に残して行けるかは、長野県が未来に渡ってその文化の多様性や奥深さ、味わい深さに裏付けされた存在感を世界に放ち続けていけるかに大きく影響する問題と考え、信州の伝統的工芸品についての見識を深め、その存在を広く知らしめることで後世に伝え残していき、産業として振興していくことを目的として、設立しました。